

～市場相場に左右されない流通体制の構築～  
**川内市漁業協同組合（鹿児島県薩摩川内市）**

目詰まりの現状

- 川内港で水揚げされるタイは鮮魚と活魚では活魚の方が1.2倍高値で取引されるも、現状の輸送能力の関係で、出荷量を伸ばせない。
- ブリや甲イカ類などは市場入荷量が増加すると、魚価が急激に下がり、採算が取れない状況になる。

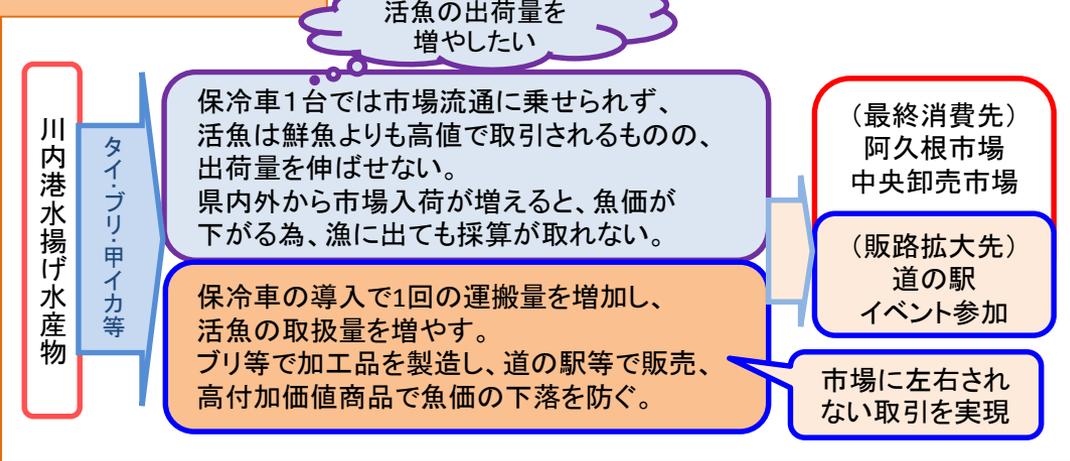
プロジェクトの概要

- 保冷車を整備し出荷量を増やすことで、出漁回数及び活魚の出荷率向上を図る。
- スーパーや物産店、飲食店への直売を行い、市場相場に左右されない販路を開拓する。
- 自社で加工事業を行い、新たな特産品開発と販路拡大を行う。
- 産地から市場及び地域内への供給量を増やし、円滑な水産物流通体制を構築する。

取組による成果

- 道の駅で未利用・低利用魚の販売に着手。
- 市場相場よりも高値での販売が実現。
- 加工品販売により販売実績が増加。
- 道の駅での鮮魚販売や直売により、漁業者の所得向上。

プロジェクトフロー



4t型保冷車



販売風景

